

## ■「グローバル中央シンポジウム(第1回)国際環境問題—タイを中心として」を開催

2013年5月28日(火)に「グローバル中央シンポジウム(第1回)国際環境問題—タイを中心として」が、タイ・バンコクのインペリアルクイーンズパークホテルにおいて開催されました。

このシンポジウムは、文部科学省の支援を受けて実施しているグローバル人材育成推進事業の一環として企画されたもので、タイのタマサート大学、チュラロンコン大学ほか、在タイ日本大使館、タイ国日本人会、日本貿易振興機構バンコク事務所、国際協力機構タイ事務所、国際交流基金バンコク日本文化センター、日本学術振興会バンコク研究連絡センター、日本学生支援機構、バンラック財団、日本タイ協会、中央大学バンコク白門会といった様々な団体・組織の後援をいただきました。



2013年 5月28日(火)

開 会	挨拶 講 演	中央大学副学長 若林茂則 中央大学理工学部教授 山田正 「タイにおける治水と環境」
第1部	司 会	中央大学経済学部教授 長谷川聰哲
「環境と経済」	報告 1	中央大学経済学部准教授 佐々木創
	報告 2	SIAM DAIWA INTERNATIONAL Co., Ltd. エンジニアリングマネージャー 岩田芳文氏
	報告 3	チュラロンコン大学経済学部講師 シッティディ・ボンギワンシーン氏
第2部	司 会	中央大学国際センター所長 法科大学院教授 大村雅彦
「環境と法」	報告 1	中央大学法学部教授 牛嶋仁
	報告 2	中央大学法科大学院教授 太田秀夫
	報告 3	タマサート大学法学部教授 ナロン・ジャイハーン氏
講 演	「日・タイ外交史と東アジアの経済発展」 中央大学文学部教授 佐藤元英	

Web サイトでも詳細を報告しております。  
<http://globalization.chuo-u.ac.jp/news/2013/06/932/>



山田正理工学部教授による講演の様子

シンポジウムは、福原紀彦学長のビデオメッセージと若林茂則副学長によるグローバル人材育成推進事業取組の紹介で開会し、本学教員からの講演・報告に加え、タイのタマサート大学、チュラロンコン大学の教員や在タイ日系企業関係者にも報告者として登壇いただきました。全体テーマを「国際環境問題—タイを中心として」とし、総合大学としての強みを生かして「環境と経済」「環境と法」「治水工学」「外交史」などの幅広い研究学問分野にわたりました。当日は、在タイ日系企業・団体の方々、

タイ国最高裁判所、タイの大学関係者、日本に関心を持つタイ人学生ら120名以上の参加がありました。シンポジウムに続く懇親会においても活発な意見交換が行われました。この成果は、今後の大学教育に活かされるとともに、シンポジウムでの交流を基に、在タイ日系企業・団体、白門会、タイの大学、裁判所などとの連携のもと、多様なプログラムの起ち上げ、より太いパイプづくりのきっかけになると考えられます。

また、シンポジウム開催日の前後に、若林茂則副学長、大村雅彦国際センター所長がタマサート大学で「出前授業」を実施したほか、本学教員がチュラロンコン大学、カセサート大学、パンヤピワット経営大学、タイ工業省工場局を訪問し、将来的なプログラム構築のための交渉を行いました。